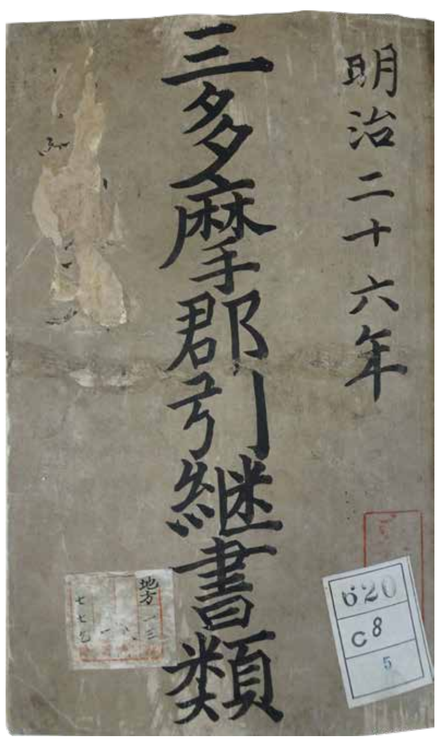
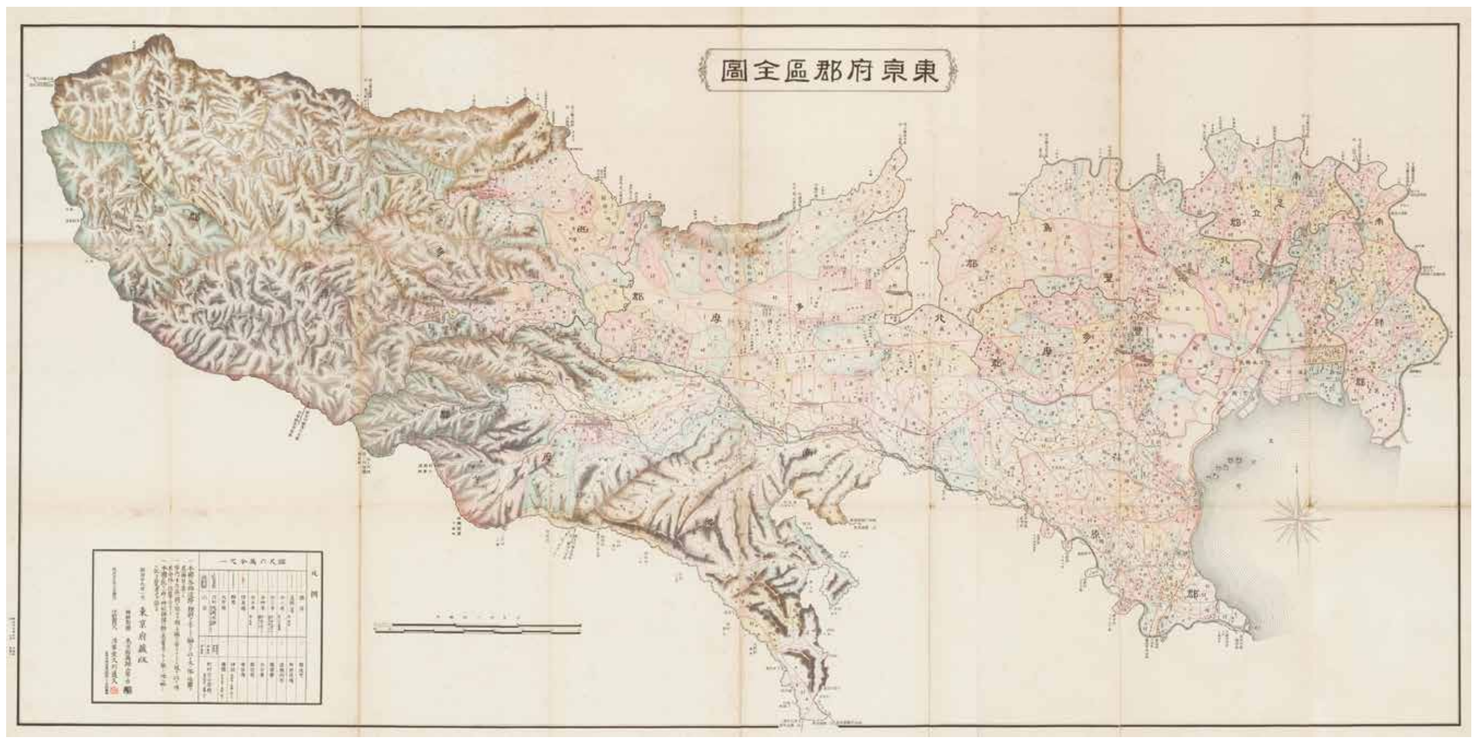
三多摩地域の編入

明治26年（1893）年、西多摩郡・南多摩郡・北多摩郡の3郡が神奈川県から東京府に移管されました。東京への安定した水道供給のため、水源地を編入する等の理由から実施されたものでした。三多摩の移管により新たに160町村が東京府に編入され、東京府の面積はおよそ3倍になりました。

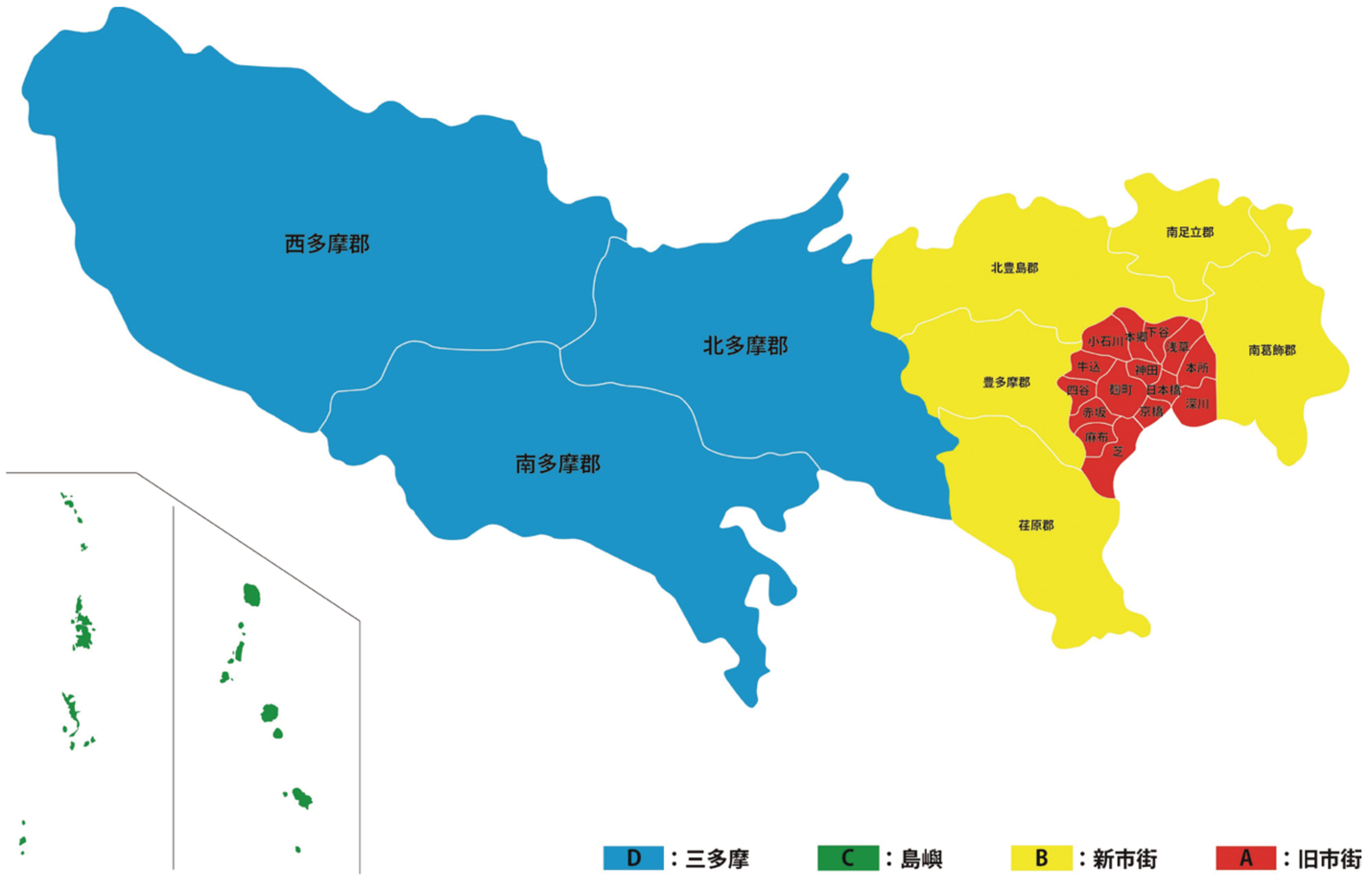
三多摩編入から3年後の明治29年、明治11年以来東京府に属していた東多摩郡と南豊島郡が合併され、豊多摩郡となります。この結果、市部15区、郡部8郡という体制が固まり、昭和7年（1932）まで続いていくことになりました。



明治26年（1893）
『三多摩郡引継書類』



明治29年（1896）
「東京府郡区全図」



東京の行政区画（1896年～1932年）